

放課後子供教室実践事例集

～放課後児童クラブ・地域との連携事例～



「茨城県マスコット ハッスル黄門」

茨城県子ども家庭課

はじめに

茨城県では、「大好きいばらき 新エンゼルプラン21」において、すべての小学校区で、放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを進めるため、すべての児童を対象に体験活動等を実施する「放課後子供教室」と日中保護者のいない家庭の児童を対象に生活の場を提供する「放課後児童クラブ」を一体的、あるいは連携して実施する総合的な放課後児童対策である「放課後子どもプラン」を推進し、平成26年度までに全小学校区で実施されることを目標に、実施主体である市町村に対し各種補助制度を活用した支援や研修会などを実施してきたところです。

また、平成26年7月には、厚生労働省と文部科学省の共同により「放課後子ども総合プラン」が策定され、平成27年度からは一体型を中心とした「放課後児童クラブ」と「放課後子供教室」を計画的に整備していくことや、学校施設を活用した運営及び連携が求められております。

しかし、放課後児童クラブの実施個所数に比べ、放課後子供教室の実施個所数は、未だ十分でないのが実情です。

本事例集では、放課後子供教室の課題である人材の確保や、放課後児童クラブとの連携、学校との連携を中心に、地域と連携した放課後子供教室の特色のある活動や、保護者の方々、参加した子どもたちの意見などをまとめております。

本事例集が、各市町村における放課後対策の一助となれば幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたり、資料の作成等にご協力いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

茨城県保健福祉部子ども家庭課長

目 次

	(ページ)
放課後子ども総合プランについて	1
放課後子供教室の実践事例一覧	4
1. 放課後児童クラブと連携した取組例	
① 取手市	9
② つくば市	11
③ 守谷市	13
④ 大洗町	15
⑤ 美浦村	19
⑥ 利根町	25
2. 地域と連携した放課後子供教室の取組例	
① 水戸市	27
② 結城市	29
③ 下妻市	31
④ 常総市	33
⑤ つくば市	35
⑥ ひたちなか市	37
⑦ 鹿嶋市	39
⑧ 潮来市	43
⑨ 筑西市	45
⑩ 稲敷市	47
⑪ 行方市	49
⑫ 大洗町	51
⑬ 大子町	53
(参考資料)	
人材リスト等の活用について	70

放課後子ども総合プランについて

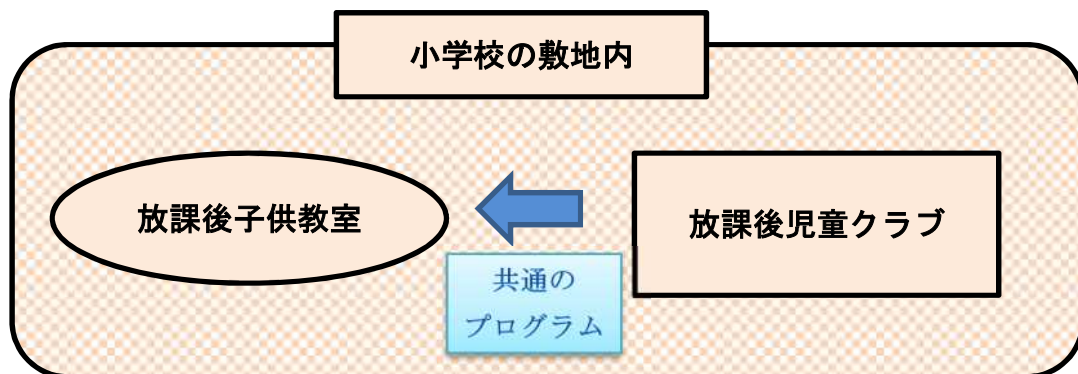
文部科学省と厚生労働省の連携により策定された放課後子ども総合プランでは、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブと放課後子供教室の計画的な整備を進めます。

○国全体の目標

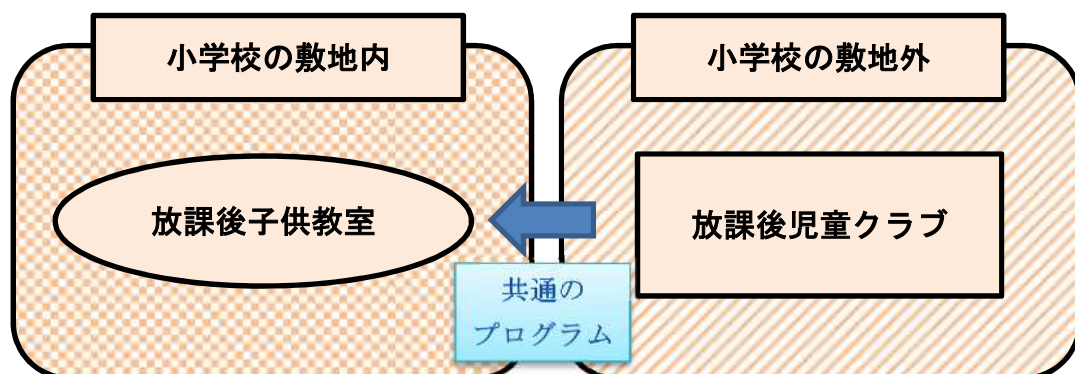
平成31年度末までに放課後児童クラブと放課後子供教室を全小学校区（2万か所）で一体的に又は連携して実施し、うち1万か所以上を一体型として実施を目指す。

○一体型と連携型について

一体型とは・・・放課後児童クラブと放課後子供教室の児童が、同一の小学校内等の活動場所において、放課後子供教室開催時に共通プログラムに参加できるものをいう。



連携型とは・・・放課後児童クラブと放課後子供教室の活動場所の少なくとも一方が小学校内等以外の場所にあって、放課後子供教室が実施する共通プログラムに、放課後児童クラブの児童が参加できるものをいう。



【放課後子ども総合プランの課題】

放課後子ども総合プランの推進には、放課後児童クラブと放課後子供教室が一体的に実施されることが必要であり、そのためには「活動する場所の確保」、「人材の確保」が課題となります。

○ 活動場所の確保

放課後子ども総合プランでは、小学校に就学している全ての児童の安全・安心な居場所づくりの観点から、同じ学校に通う児童の健やかな成長のため、実施主体の垣根を越え、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施に当たって、学校教育に支障が生じない限り、余裕教室や放課後等に一時的に使われていない教室等の徹底的な活用を促進することが必要となります。



＜学校施設の活用方法＞

- ①使用できる余裕教室の協議 ②特別教室等の一時利用の促進 ③必要な施設の整備

○ 人材の確保

一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施に当たっては、全ての児童を対象とした多様な学習・体験活動のプログラムの充実が求められます。

学校での学びを深めたり広げたりする学習や、補充学習、文化・芸術に触れあう活動、スポーツ活動等、児童の興味・関心やニーズ、地域の資源等を踏まえた多様なプログラムが考えられ、各プログラムに対応する人材も同時に必要となります。

＜人材確保の方法＞

- ①広報紙等での募集 ②地域の人材の活用 ③人材リスト等の活用※

※（参考資料）「人材リスト等の活用について」参照

放課後子供教室の実践事例一覧

(平成 2 7 年 1 月現在)

放課後子供教室の実践事例一覧

1. 放課後児童クラブと連携した取組例

頁	市町村名	教室名 ～活動テーマ～	主な活動	活動の様子
9	取手市	稲小学校放課後子どもクラブ ～放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的に運営～	読み聞かせ 伝承文化 宿題サポート プリント学習 工作 スポーツ教室	
11	つくば市	松代小放課後子ども教室 ～遊びや交流活動を通して、地域全体で子どもを見守る 教育力の向上～	昔遊び 工作 体験活動 ドミノ倒し 押し葉図鑑作り	
13	守谷市	守谷小学校児童クラブ もりっこひろば ～放課後子どもプランとして活動を行い、異学年や地域 との交流を行う～	ボール遊び 縄跳び 宿題 自由工作 文化芸術 スポーツ体験	
15	大洗町	おおあらい学童クラブ 放課後子ども教室りんりんくらぶ ～放課後児童クラブと放課後子供教室のスタッフが共に 豊かな体験活動を企画・運営～	体験活動 抹茶体験 囲碁教室 編み物教室 ケーキ作り	
17		夏海げんきっ子クラブ ～学童クラブと放課後子供教室のスタッフが共に豊かな 体験活動を企画・運営～	工作 折紙 宿題 外遊び	
19	美浦村	木原児童クラブ 木原小学校子どもの遊び場 ～昔遊びや体験活動を通して地域住民との交流～	スポーツ ドッジボール サッカー フラフープ バンブーダンス カローリング 工作等 ストロー紙トンボ 折り紙 ススキの吹き矢 竹とんぼ バルーンアート	
21		大谷児童クラブ 大谷小学校子どもの遊び場 ～昔遊びや体験活動を通して地域住民との交流～		
23		大谷第2児童クラブ 安中小学校子どもの遊び場 ～昔遊びや体験活動を通して地域住民との交流～		
25	利根町	文小学校 放課後児童クラブ ほうかご子ども教室 ～避難訓練～	避難訓練	

2. 地域と連携した放課後子供教室の取り組み

頁	市町村名	教室名 ～活動テーマ～	主な活動	活動の様子
27	水戸市	双葉台小学校放課後子ども教室 ～遊びを中心とした色々な体験活動を通し、年代の違う仲間やスタッフとの関わり合い～	忍者遊び カプラ(創作積木) 紙相撲大会 科学実験教室 短歌づくり 影絵教室	
29	結城市	くすのきふれあいスクール ～地域と連携した放課後子供教室の運営～	昔遊び 読み聞かせ 体験学習 スライム作り バルーンアート 切り絵 宿題補助	
31	下妻市	わくわくキッズとばのえ ～地域の大人による放課後子供教室の運営～	昔遊び 読み聞かせ 体験学習 ケーキ作り	
33	常総市	飯沼ふれあいスクール ～地域の特色ある放課後子供教室の運営～	読み聞かせ 産業体験 スイカ割り お茶づくり 自由遊び	
35	つくば市	松代小放課後子ども教室 ～遊びや交流活動を通して、地域全体で子どもを見守る教育力の向上～	昔遊び 工作 体験活動 ゲラウンドゴルフ	
37	ひたちなか市	那珂湊第二小学校「つきやまクラブ」 ～スポーツ・文化などの体験活動。他学年・地域の方との交流～	自由遊び スポーツ活動 昔遊び 創作活動 宿題	
39	鹿嶋市	豊津地区放課後子ども教室(休日の部) ～地域の人とふれあい、地域の歴史や文化を知ろう～	体験活動 カルタ大会 餅つき大会	
41		はまなす地区放課後子ども教室(休日の部) ～地域の人とふれあい、地域の歴史や文化を知ろう～	体験活動 門松づくり	
43	潮来市	潮来市放課後子ども教室(6箇所) ～工作、調理体験、伝統文化体験など～	工作 風作り クリスマスリース作り 調理体験 カレー作り 伝統文化体験 活花	
45	筑西市	河間小うきうき体験教室 新治小すくすく体験教室 ～地域(人や自然環境)を活かした体験教室～	ニュースポーツ キンボール バルーンバレー 里山活動 自然探索 体験活動 バルーンアート	
47	稲敷市	あずま西小学校放課後子供教室 ～様々な体験活動を中心とした特色ある子供教室の運営～	昔遊び 体験活動 ゲラウンドゴルフ 輪投げ 下校補助 見守り	

49	行方市	子ども陶芸室 ～地域の多様な技能を持つ人材をコーディネートした生きたプログラムの実現～	体験活動 陶芸	
51	大洗町	おふじやま教室 ～放課後子ども教室の運営～	自由遊び 体験活動 ザリガニ釣り ミニトマト狩り お楽しみ会 ミニ夏祭り	
53	大子町	だいが小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 低学年の音読 創作活動 折り紙 絵皿づくり 室内サッカー	
55		依上小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 低学年の音読 書道 創作活動 折り紙 ドッジボール	
57		さはら小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 低学年の音読 創作活動 折り紙 ビーズ作り ボール遊び	
59		黒沢小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 低学年の音読 創作活動 折り紙 うちわ作り カルタ取り	
61		生瀬小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 学習プリント 創作活動 人形劇 うちわ作り ボール遊び	
63		袋田小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 低学年の音読 創作活動 折り紙 バルーンアート 室内サッカー	
65		上小川小学校放課後子ども教室 ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題 低学年の音読 創作活動 折り紙 竹とんぼ 魚釣り大会	
67		すまいるクラブ ～「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」～	宿題支援 創作活動 貼り絵 一輪車 カルタ取り	

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	取手市			
クラブ・教室名	稲小学校放課後子どもクラブ			
活動テーマ	放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的に運営			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	238日	放課後子供教室	234日
(2)実施場所		学校内専用教室		余裕教室、体育館、等
(3)開催時刻		授業終了～午後7時		授業終了～午後7時
(4)登録児童数		56人		34人
(5)共通の活動日	234日			
(6)共通の実施場所	学校内専用教室、余裕教室、体育館、等			
(7)共通の開催時刻	授業終了～午後7時			
(8)共通の参加児童数	38人			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	2 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	2 人			
○ 教育活動サポーター	3 人			
○ 募集方法	市の広報誌で募集、市人事課登録者からの選定、従事者からの紹介、等			
○ スタッフ職歴等	元教諭、教員免許、保育士免許などの有資格者、地域の方			
2 学校との連携方法				
施設の使用については、鍵の開閉や戸締り、備品の管理をスタッフが責任を持って行う。 学校長をクラブの所長として任命し、日誌を作成して必要に応じて指導助言などの対応していただいている。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	長期休業日等に、地域団体の方に読み聞かせや伝承文化など、様々な体験学習を取り入れている。			
	学習アドバイザーを任命し、宿題のサポートや独自のプリント作成し取り組んでいる。また、長期休業日等には、学習だけでなく工作なども取り入れ、実施している。			
	地域団体によるスポーツ教室を定期的に行っている。			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	コーディネーターを任命し、地域団体や学習アドバイザーの訪問計画、調整を行う。 また、訪問予定の無い日のクラブのスケジュールの指導、助言等を行っている。			
	事業の活動については、地域団体も含めて、各スタッフが企画運営を行っている。			
	児童の安全な生活の確保及び居場所として、児童の健全育成並びに保護者の就労支援の充実に取り組んでいる。			
(3)取組の効果	異学年間の交流や体験活動での大人の方との交流を通じて、様々な体験ができ、児童の健全育成に努められている。			
	活動時間内に宿題の時間の取り入れたり、宿題、学習のサポートをする学習支援は、保護者に好評である。			
4 参加している方々の感想等				
体験活動やスポーツ教室を実施する日は、通常のスケジュールの日と比べると参加が多く、児童に大変評判が良い。				



初めて体験するスポーツちゃんばら



大好評の工作教室

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	つくば市			
クラブ・教室名	松代小放課後子ども教室			
活動テーマ	遊びや交流活動を通して、地域全体で子どもを見守る教育力の向上			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	250日	放課後子供教室	13日
(2)実施場所		松代児童館		松代小学校
(3)開催時刻		授業終了～午後6時		午後3時～午後4時
(4)登録児童数		59名		約50名(随時募集)
(5)共通の活動日	13日(放課後子供教室を実施する月曜日)			
(6)共通の実施場所	多目的室・体育館 等			
(7)共通の開催時刻	午後3時～午後4時			
(8)共通の参加児童数	約20名			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	0 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	1～3 人			
○ 教育活動サポーター	3～5 人			
○ 募集方法	学校を通して、チラシを配付し随時募集している。			
○ スタッフ職歴等	地域の方、父母会			
2 学校との連携方法				
学校の施設を使用するので、戸締りや備品の管理を放課後子ども教室が責任を持って行う。児童の実態やニーズに合ったものを行えるよう、学校の先生方とコーディネーターが事前に打ち合わせをして、適切な内容と教育活動推進員を依頼するようにしている。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	地域の方々を教育活動推進員として依頼し、昔遊びや工作などさまざまな体験活動を行っている。			
	異学年交流が図れる内容を計画して実施している。			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	放課後子ども教室を小学校の教育活動とは別の事業として位置づけ、保護者に向けチラシやホームページ等で周知を進めている。			
	放課後子ども教室と放課後児童クラブの児童が、共通のプログラムに参加できるよう、申込用紙を学校を通して配布している。			
	放課後児童クラブでは、連絡帳を通して放課後子ども教室に参加する児童の把握を行っている。			
(3)取組の効果	学校内で実施することにより、教育活動サポーターとして保護者の協力を得て実施することができている。			
4 参加している方々の感想等				
放課後子ども教室では、普段できないことができ、とても楽しい。いろいろなものを作ったり、遊んだりするのがいい。(児童)				
いつもは児童館に預けているので、このような取り組みは子供にとってよいと思う。(保護者)				
教育活動推進員やサポーターとして参加することで、大人も元気がもらえる。(教育活動推進員・教育活動サポーター)				



～ドミノ倒しに挑戦！～
友達と協力しておもしろいルートを作ったよ。



～オリジナルの押し葉図鑑作りの様子～
学校の周りにはどんな植物があるかな

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	守谷市			
クラブ・教室名	守谷小学校児童クラブ・もりっこひろば			
活動テーマ	放課後子どもプランとして活動を行い、異学年や地域との交流を行う			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	概ね280日	放課後子供教室	概ね185日
(2)実施場所		学校敷地内専用施設		校庭、体育館、コミュニティールーム他
(3)開催時刻		各学年下校時刻～19:00		各学年下校時刻～17:00
(4)登録児童数		105		84
(5)共通の活動日	放課後の毎日(子ども教室を実施する日。ただし、週休日、代休及び長期休暇は開催せず)			
(6)共通の実施場所	校庭、体育館、コミュニティールーム			
(7)共通の開催時刻	概ね3:45～16:45			
(8)共通の参加児童数	185人			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	15 人(子ども教室指導員4人、児童クラブ指導員11人)			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	人			
○ 教育活動サポーター	12 人			
○ 募集方法	運営委託会社(ボランティアについては、行政でも募集)			
○ スタッフ職歴等	教員、保育士などの有資格者、地域の方			
2 学校との連携方法				
市内放課後子どもプランを実施する小学校に施設長として、小学校の校長を任命しており、運営について指導や助言をいただいている。そのため、学校施設の利用や先生方との情報共有が図られている。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	校庭(遊具、サッカー野球、ボール遊び、縄跳びなど)、体育館(ドッジボール、縄跳び、ボール遊び)			
	コミュニティールーム(宿題、自由工作、折り紙、お絵かき、オセロなどのボードゲーム)			
	イベント参加(文化芸術、各種スポーツ活動の体験)			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	両事業の指導員が、合同活動中、相互協力のもと、分け隔てなく双方の児童の安全を見守っている。			
	児童クラブ登録児童は、子ども教室(合同活動)に参加することを原則としている。(活動場は児童自身が選択可)			
(3)取組の効果	低学年と高学年と一緒に活動するので、活動によっては、低学年向け・高学年向けに分けて実施。			
	体験活動を実施することにより、様々な経験ができる。			
	異学年(縦割り保育)を行うことにより、遊びや学習を通して豊かな人間関係づくりを学ぶことができる。			
ボランティアとして地域に住む方々の協力を得ることにより、多世代交流の場として活動することができる、また、地域で放課後の児童を見守る役割を果たしています。				
4 参加している方々の感想等				



プレーアドバイザーによる運動教室
次に動く動作をしっかりと見つめています。



スナッグゴルフ教室です
アイアンとパターを練習しました。

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	大洗町			
クラブ・教室名	おおあらい学童クラブ・放課後子ども教室りんりんくらぶ			
活動テーマ	放課後児童クラブと放課後子供教室のスタッフが共に豊かな体験活動を企画・運営			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	280日	放課後子供教室	80日(火・金)
(2)実施場所		学校敷地内専用施設		りんりんホール・体育館・校庭・図書館
(3)開催時刻		授業終了～午後7時		授業終了～午後6時
(4)登録児童数		90人		188人
(5)共通の活動日	80日(放課後子供教室を実施する毎週火曜日及び金曜日)			
(6)共通の実施場所	りんりんホール・体育館・校庭・図書館・学童クラブ			
(7)共通の開催時刻	授業終了～午後6時			
(8)共通の参加児童数	90人			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童クラブ指導員	5～6 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	1 人			
○ 教育活動サポーター	10～12 人			
○ 募集方法	コミュニティ委員会や保護者からの紹介で募集。			
○ スタッフ職歴等	元教諭, 保育士などの有資格者, 地域の方, 父母会			
2 学校との連携方法				
緊急時の引渡し訓練などを学校、学童、子ども教室が定期的に合同で行ったり、お便りの配布や出席カードの回収などは学校の協力をいただいている。校舎内ではあるが施設やセキュリティ面では独立しており、学校には迷惑をかけないようにしている。しかし、校庭の遊具や一輪車などは学校の物を利用させていただいている。体育館の利用に関しては学校のクラブなどの使用状況に応じて調整している。また、参加人数が多いため、雨天時校庭が使用できない場合、室内が混雑してしまうので学校の協力により図書館も利用できるようになっている。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	毎回地域のボランティアグループの方に来ていただき様々な体験活動を実施している。			
	活動の参加は基本的には自由。自分で考えて好きな活動をする。			
	学期末にはお楽しみ会を開催(例:1学期 コロコロアイス作りやかき氷・2学期 クリスマスケーキ作り・3学期 しのパン焼いてお別れ会)			
(2)共通活動のポイント(工夫している点 等)	両事業のスタッフが放課後子供教室の活動(交流活動)と一緒に企画・運営している。			
	囲碁や将棋、編み物、絵手紙、折り紙、手話、昔遊び、手作りおもちゃなど多くのボランティアさんによる体験教室は学校では体験できない継続的な体験として非常に意味があると思われる。			
(3)取組の効果	1年生から6年生まで一緒になって活動をするため、縦のつながりができる。			
	学校内で実施することにより、安心・安全な放課後の居場所として保護者にも認められ、多くの参加がある。			
	地域のボランティアさんの指導による継続的な体験活動の中では、家庭でもできない多くのことを子供たちが学習している。			
スタッフやボランティアさんがほとんど地域の人たちで構成されているため、地域の中でのイベントやお祭りなどで普通に子ども達と接し交わうことができ、地域での子育ての環境が培われているように思う。				
4 参加している方々の感想等				
大人たちの見守りの中、安全に遊ぶことができとても喜ばれている。				
地域のボランティアさんによる体験教室は、家庭ではできないことを教えてくれたり、体験させてくれる。				
りんりんくらぶがある日は朝、喜んで学校に行くんです、と言われる子もいる。				



抹茶体験には校長先生もご招待しました！



今ではこま編みもみんな上手になりました！



高学年は囲碁教室を楽しみにしています。いんいんでみんな囲碁を覚え、今では囲碁教室の先生が負けることも…？



人形劇も小学生にも大人気！しっかりお話の世界に入っていました！



秋を感じよう！の体験教室では「玉ねぎの皮でハンカチをそめる」「どんぐりでアート！」



40台のスポンジもボランティアさんが1日かけて焼いて、準備から関わってくれます



年度最後のしのパン焼いてお別れ会はいつも大好評

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	大洗町			
クラブ・教室名	夏海げんきっ子くらぶ			
活動テーマ	放課後児童クラブと放課後子供教室のスタッフが共に豊かな体験活動を企画・運営			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	280日	放課後子供教室	35日(水)
(2)実施場所		学校敷地内専用施設		学校敷地内専用施設
(3)開催時刻		授業終了～午後7時		午後3時～午後6時
(4)登録児童数		13人		61人
(5)共通の活動日	35日(放課後子供教室を実施する毎週水曜日)			
(6)共通の実施場所	学校敷地内専用施設、校庭、体育館、図書室等			
(7)共通の開催時刻	午後3時～午後6時			
(8)共通の参加児童数	13名			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	2 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	0 人			
○ 教育活動サポーター	9 人			
○ 募集方法	保護者からの紹介で募集。			
○ スタッフ職歴等	元教諭、地域の方、父母会			
2 学校との連携方法				
学校の施設を使用するので、鍵の開閉や戸締り、備品の管理を放課後子供教室が責任を持って行う。活動の様子についても、学校の先生方と情報共有できるように随時話し合いを持っている。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	地域の方による工作や折り紙を行う。			
	地域の方に協力をいただき、子ども達の宿題や、課題の補助を行う。			
	地域の方により、外遊びの見守りや遊び相手を行っている。			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	両事業のスタッフが放課後子供教室の活動(交流活動)と一緒に企画・運営している。			
	放課後子供教室を小学校の教育活動とは別の事業として位置づけ、保護者に向け周知を進め、責任の所在を明らかにすることにより、学校への負担を解消している。			
	共通の施設を使っているなのでそれぞれの管理している遊び道具の使い方に気を付けている。			
(3)取組の効果	学校内で実施することにより、安心・安全な放課後の居場所として保護者から信頼されている。			
	体験活動を多く実施することにより、全ての児童がさまざまな経験ができる。			
	宿題を終わらせて帰るので喜ばれている。			
4 参加している方々の感想等				
体験活動を通して、子どもがさまざまな経験ができるので良い。子ども達も楽しんで参加している。学校内での活動なので安心して預けられる。家に帰ると近所に遊ぶ友達がいないので、長い時間遊べるので楽しみにしている。				



地域ボランティアの方が教えてくれた竹の水鉄砲



みんなびしょびしょになりながらも夢中で水を飛ばしています

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	美浦村			
クラブ・教室名	木原児童クラブ ・ 木原小学校子どもの遊び場			
活動テーマ	昔遊びや体験活動を通して地域住民との交流			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	253日	放課後子供教室	4日(不定期)
(2)実施場所		学校敷地隣接専用施設		学校体育館・屋外運動場
(3)開催時刻		下校時～18時15分		15時～16時30分
(4)登録児童数		65人		第1回 101人 第2回 84人 第3回 77名 第4回 72人
(5)共通の活動日	4日(放課後子ども教室を実施する日)			
(6)共通の実施場所	学校体育館・屋外運動場			
(7)共通の開催時刻	15時～16時30分			
(8)共通の参加児童数	各回共に25人前後			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	0 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	4 人			
○ 教育活動サポーター	2 人			
○ 募集方法	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターについては特段募集は行っていない。 運営サポーター(保護者及び地域住民)は広報誌(子どもの遊び場通信)で募集			
○ スタッフ職歴等	元教員を含む地域ボランティアの方々			
2 学校との連携方法				
・学校施設を使用するため、実施日については学校及び教育関係機関で組織する行事調整委員会で調整し連携を図る。 ・全児童を対象にしているため、実施案内の配布及び参加者取りまとめについて学校に依頼し連携を図る。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	参加者が多数のため、一度に複数の種目を実施している。種目の内訳は ◎スポーツ(ドッジボール・サッカー・フラフープ・バンブーダンス・カローリング) ◎工作等(ストロー紙トンボ・リングリンググライダー・折り紙・空缶弓矢・ブンブンごま・スキの吹き矢・指編み)			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	原則、各回異なる種目で実施している。			
(3)取組の効果	複数の遊びの種目があることから、やりたい種目に意欲的に取り組む姿勢がうかがえた。また 時間が余ればその他の種目にも積極的にチャレンジしていた。 スポーツ活動においては、最年長児童が主導権をとり、チーム分けをするなど縦割り活動の機会 としても有効であった。			
4 参加している方々の感想等				
低学年児童においては毎回楽しみにしている。 参加者の人数(各回とも全児童の3割以上参加)からみても、好評であることがうかがえる。				



ススキの吹き矢作り



カローリング



ミニマフラー作り(指編み)

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	美浦村			
クラブ・教室名	大谷児童クラブ ・ 大谷小学校子どもの遊び場			
活動テーマ	昔遊びや体験活動を通して地域住民との交流			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	253日	放課後子供教室	5日(不定期)
(2)実施場所		学校敷地隣接専用施設		学校体育館・PTA室・屋外運動場
(3)開催時刻		下校時～18時15分		15時～16時30分
(4)登録児童数		91人		第1回 147人 第2回 132人 第3回 中止 第4回 104人 第5回 人
(5)共通の活動日	5日(放課後子ども教室を実施する日)			
(6)共通の実施場所	学校体育館・屋外運動場			
(7)共通の開催時刻	15時～16時30分			
(8)共通の参加児童数	各回共に25人前後			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	0 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	2 人			
○ 教育活動サポーター	2 人			
○ 募集方法	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターについては特段募集は行っていない。 運営サポーター(保護者及び地域住民)は広報誌(子どもの遊び場通信)で募集			
○ スタッフ職歴等	元教員を含む地域ボランティアの方々			
2 学校との連携方法				
・学校施設を使用するため、実施日については学校及び教育関係機関で組織する行事調整委員会で調整し連携を図る。 ・全児童を対象にしているため、実施案内の配布及び参加者取りまとめについて学校に依頼し連携を図る。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	参加者が多数のため、一度に複数の種目を実施している。種目の内訳は ◎スポーツ(ドッジボール・サッカー・フラフープ・バンブーダンス・ディスクターゲット) ◎工作等(ストロー紙トンボ・リングリンググライダー・折り紙・空缶弓矢・ブンブンごま・ススキの吹き矢・竹トンボ・バルーンアート・グニャカイト)			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	原則、各回異なる種目で実施している。			
(3)取組の効果	複数の遊びの種目があることから、やりたい種目に意欲的に取り組む姿勢がうかがえた。また時間が余ればその他の種目にも積極的にチャレンジしていた。 スポーツ活動においては、最年長児童が主導権をとり、チーム分けをするなど縦割り活動の機会としても有効であった。			
4 参加している方々の感想等				
低学年児童においては毎回楽しみにしている。 参加者の人数(各回とも全児童の3割程度参加)からみても、好評であることがうかがえる。				



折り紙で七夕飾りづくり



ドッジボール

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	美浦村			
クラブ・教室名	大谷第2児童クラブ ・ 安中小学校子どもの遊び場			
活動テーマ	昔遊びや体験活動を通して地域住民との交流			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	253日	放課後子供教室	4日(不定期)
(2)実施場所		校舎内余裕教室		学校体育館・家庭科室・図工室・屋外運動場
(3)開催時刻		下校時～18時15分		15時～16時30分
(4)登録児童数		18人		第1回 65人 第2回 43人 第3・4回 人
(5)共通の活動日	4日(放課後子ども教室を実施する日)			
(6)共通の実施場所	学校体育館・家庭科室・図工室・屋外運動場			
(7)共通の開催時刻	15時～16時30分			
(8)共通の参加児童数	各回共に5人前後			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	0 人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	2 人			
○ 教育活動サポーター	2 人			
○ 募集方法	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターについては特段募集は行っていない。 運営サポーター(保護者及び地域住民)は広報誌(子どもの遊び場通信)で募集			
○ スタッフ職歴等	元教員を含む地域ボランティアの方々			
2 学校との連携方法				
・学校施設を使用するため、実施日については学校及び教育関係機関で組織する行事調整委員会で調整し連携を図る。 ・全児童を対象にしているため、実施案内の配布及び参加者取りまとめについて学校に依頼し連携を図る。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	参加者が多数のため、一度に複数の種目を実施している。種目の内訳は ◎スポーツ(ドッジボール・サッカー・フラフープ・バンブーダンス) ◎工作等(ストロー紙トンボ・リングリンググライダー・折り紙・空缶弓矢・ブンブンごま・ススキの吹き矢・かかしづくり・ミニ門松づくり・グニャカイト)			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	原則、各回異なる種目で実施している。			
(3)取組の効果	複数の遊びの種目があることから、やりたい種目に意欲的に取り組む姿勢がうかがえた。また時間が余ればその他の種目にも積極的にチャレンジしていた。 スポーツ活動においては、最年長児童が主導権をとり、チーム分けをするなど縦割り活動の機会としても有効であった。			
4 参加している方々の感想等				
低学年児童においては毎回楽しみにしている。 種目の内容によっては、全児童の6割以上参加する回があり、大変好評であることがうかがえる。				



ミニ門松づくり



ススキの吹き矢づくり

放課後児童クラブと連携した取組例

市町村名	利根町			
クラブ・教室名	文小学校 放課後児童クラブ・放課後子ども教室			
活動テーマ	避難訓練			
1 概 要				
(1)活動日数	放課後児童クラブ	12月9日	放課後子供教室	12月9日
(2)実施場所		余裕教室・校庭		余裕教室・校庭
(3)開催時刻		午後4時		午後4時
(4)登録児童数		22名		16名
(5)共通の活動日				
(6)共通の実施場所				
(7)共通の開催時刻				
(8)共通の参加児童数	児童クラブ約10名 ・ 子ども教室13名			
(9)共通活動日運営スタッフ				
○ 放課後児童指導員	人			
○ コーディネーター	1 人			
○ 教育活動推進員	1 人			
○ 教育活動サポーター	1 人			
○ 募集方法	ハローワーク等で募集。			
○ スタッフ職歴等	保育士、地域の方			
2 学校との連携方法				
・学校の施設を利用しているので、鍵の開閉や戸締りを責任を持って指導員が行っている。また、サポーターについては、安全管理について重点を置いて不審物や不審者の点検を実施している。				
3 活動内容				
(1)具体的な活動内容	・災害時(地震・火災)における避難方法等の確認。			
	・クラブと教室の指導員が連携して避難できるよう活動内容について確認する。			
(2)共通活動のポイント (工夫している点 等)	・児童の安全確保を最優先に考え行動する。			
(3)取組の効果	・実施することにより連帯意識が高まる。			
4 参加している方々の感想等				



避難訓練の様子(児童クラブ)



避難訓練の様子(子ども教室)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	水戸市		
教室名	双葉台小学校放課後子ども教室		
活動テーマ	遊びを中心とした色々な体験活動を通し、年代の違う仲間やスタッフとの関わり合い		
1 概 要			
(1)活動日数	15日		
(2)実施場所	双葉台小学校第2図書室		
(3)開催時刻	午後3時～午後5時30分		
(4)登録児童数	前期22人 後期20人		
(5)活動日運営スタッフ			
○ コーディネーター	1 人		
○ 教育活動推進員	4 人		
○ 教育活動サポーター	0 人		
○ 募集方法	学校を通し、チラシで募集		
○ スタッフ職歴等	NPO法人水戸こどもの劇場で子どもの活動や学童に長く関わったメンバー		
2 学校との連携方法			
活動内容によって体育館などお借りして活動ができている。参加希望者が多く、会場の関係上全員を一緒に受け付けられない時に学校と相談して、前期後期に分け全員を受け入れるなど運営にもご意見をいただいている。			
3 活動内容			
(1)具体的な活動内容	仲間づくりオリエンテーション・忍者遊び・カプラ(創作積木)・紙相撲大会・科学実験教室・		
	短歌づくり・影絵教室		
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	まず宿題の時間を作り、終わらせてから活動に移り、時間の区切りをしっかりとつける。		
	仲間作りの為、活動によってグループで実施をし、自ら動けるようにしている。約束事も決めている。		
	年上の子が年下の子に対し面倒を見られるように、年上の子に責任ある役割も任せる。		
(3)取組の効果	体験的な活動が多く、子どもたちにとって新しい発見があり、夢のある居場所づくりを実現している。		
	子ども達が主体的に動き、発言もしっかりできている。		
	子ども同士、又スタッフともとても仲が良い。		
4 参加している方々の感想等			
来年も又来たい。 日常では違う年齢の子ども達と遊ぶことはないが、子ども教室では良く遊んでもらっている。 保護者より、毎回子どもが楽しみにしていますとの感想があります。			



科学実験教室 アイスクリームは何度でできるか計ってみよう



紙ずもう大会 自分で作ったお相撲さんで全員と対戦しました

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	結城市
教室名	くすのきふれあいスクール
活動テーマ	地域と連携した放課後子供教室の運営
1 概 要	
(1)活動日数	20日(月2回 月曜)
(2)実施場所	会議室・校庭・体育館 等
(3)開催時刻	午後3時～午後5時30分
(4)登録児童数	23人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター	1 人
○ 教育活動推進員	1 人
○ 教育活動サポーター	3 人
○ 募集方法	サポーターからの紹介等
○ スタッフ職歴等	元教諭など地域ボランティアの方々
2 学校との連携方法	
学校の施設を使用するので、戸締り、備品管理を放課後子ども教室が責任をもって行う。 学校へは活動予定表を配布、開催日には職員室へ挨拶および報告をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	地域の方による昔遊びや読み聞かせ、体験活動を行う。 (スライム作り、バルーンアート、切り絵、ダンボールクラフト等)
	地域の方に協力をいただき、子どもたちの宿題の補助を行う。 ボランティア(中学生)に協力をいただき、子どもたちの遊びの補助を行う。
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	異学年交流の促進が図れるよう、活動のルールやグループ編成に配慮しながら実施している。
	放課後子供教室を小学校の教育活動とは別の事業として位置づけ、保護者に向け周知を進め、責任の所在を明らかにすることにより、学校への負担を解消している。
	ボランティア(中学生)の方にも参加していただくことで、遊びの幅および活動量を増やしている。
(3)取組の効果	学校内で実施することにより、安心・安全な放課後の居場所を提供できている。
	体験活動を多く実施することにより、全ての児童がさまざまな経験ができる。 異学年交流もできる。
	講師・元教員がスタッフとして関わっているため、宿題のわからないところを教えてもらえる。
4 参加している方々の感想等	
親世代の遊びを教えてもらってうれしかった。家に帰ってからも楽しく遊んでいた。 自分で作ったもので遊ぶことは良い体験だと思う。簡単なものなら家でも作れる。 たくさんの人たちと関われる昔遊びは、なかなか体験させてあげられないのでよかった。	



はじめてのスライム作り！上手にできるかな



紙切りパフォーマンスは大好評でした！

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	下妻市
クラブ・教室名	わくわくキッズとばのえ
活動テーマ	地域の大人による放課後子供教室の運営
1 概 要	
(1)活動日数	21日(基本的に第2・第4土曜日)
(2)実施場所	図書室・校庭・体育館
(3)開催時刻	午前9時～正午
(4)登録児童数	20人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター	会長1 人
○ 教育活動推進員	副会長1 人
○ 教育活動サポーター	事務局1 人
○ 募集方法	騰波ノ江地区在住の大人の方の自薦・他薦
○ スタッフ職歴等	茨城県職員や自営業の方々など地域ボランティアの方々
2 学校との連携方法	
学校の施設を使用するので、鍵の開閉や戸締り、備品の管理を放課後子供教室が責任を持って行う。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	地域の方による読み聞かせや昔遊びなどを行っている。
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	子ども達が楽しく活動ができるよう、放課後子供教室の企画・運営をしている。
(3)取組の効果	体験活動を多く実施することにより、参加した児童がさまざまな経験ができる。
4 参加している方々の感想等	
体験活動を通して、子どもがさまざまな経験ができるので良い。子ども達も楽しんで参加している。	



目隠し歩きゲームを行いました。子ども達の連帯感が増しま



ケーキ作りを体験しました。美味しく出来ました。

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	常総市		
教室名	飯沼ふれあいスクール		
活動テーマ	地域の特色ある放課後子供教室の運営		
1 概 要			
(1)活動日数	年間6日(木曜日)		
(2)実施場所	体育館・校庭・多目的ルーム 等		
(3)開催時刻	授業終了後～午後5時		
(4)登録児童数	90人		
(5)活動日運営スタッフ			
○ コーディネーター	1 人		
○ 教育活動推進員	0 人		
○ 教育活動サポーター	8 人		
○ 募集方法	市の広報誌やスタッフからの紹介で募集		
○ スタッフ職歴等	会社員, 専業主婦等		
2 学校との連携方法			
学校の施設を使用するので, 鍵の開閉や戸締り, 備品の管理を放課後子供教室が責任を持って行う。担任の先生から児童欠席の連絡をもらう。			
3 活動内容			
(1)具体的な活動内容	地元高校生による読み聞かせや, 地域の産業体験(今回はスイカ割やお茶づくり体験)を行う。		
	自由遊びを中心に, 子どもたちの希望や季節を取り入れたイベントを行う。		
	子どもたちの宿題や課題の補助を行う。		
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	コーディネーターを中心にスタッフ(教育活動サポーター)が協力して企画を考えている。		
	子どもたちと密にコミュニケーションをとり, 希望を取り入れて企画に生かしている。		
	保護者のお迎えを原則として, 放課後子ども教室参加の条件としている。お迎えは児童が待機している場所まで来ていただき, お迎えの確認をしてから直接保護者に子どもたちを引き渡している。		
(3)取組の効果	学校内で実施することにより, 安心・安全な放課後の居場所として保護者から信頼されている。		
	地域の方と交流ができる。		
	宿題の分からないところを教えてもらえ, 保護者からの評判も良い。		
4 参加している方々の感想等			
「みんなと遊べてたのしかった。」という感想が多く, 学年を超えて, 授業以外では使えない体育館等を使って遊べるので, 子どもたちも楽しんで参加している。学校内での活動なので, 保護者にとっても安心して預けられる。			



(地元のお茶屋さんからお茶づくりを教
えていただきました)



(高校生の読み聞かせに真剣に耳を傾
けています)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	つくば市		
教室名	北条小放課後子ども教室		
活動テーマ	様々な体験活動を通して、地域で子どもを見守る環境作り		
1 概 要			
(1)活動日数	54日(火曜日・木曜日)		
(2)実施場所	多目的室・校庭・体育館		
(3)開催時刻	午後3時10分から3時50分		
(4)登録児童数	56名		
(5)活動日運営スタッフ			
○ コーディネーター	1 人		
○ 教育活動推進員	1～6 人		
○ 教育活動サポーター	3～6 人		
○ 募集方法	課後子ども教室開催初年度にチラシによる募集を実施・随時保護者等から参加者募		
○ スタッフ職歴等	元幼稚園・保育所教諭など地域ボランティアの方々		
2 学校との連携方法			
学校の施設を使用するので、戸締りや備品の管理を放課後子ども教室が責任を持って行う。児童の実態やニーズに合ったものを行えるよう、学校の先生方とコーディネーターが事前に打ち合わせをして、適切な内容と教育活動推進員を依頼するようにしている。			
3 活動内容			
(1)具体的な活動内容	地域の方々を教育活動推進員及び教育活動サポーターとして依頼し、昔遊びや工作などさまざまな体験活動を行っている。		
	放課後子ども教室を小学校の教育活動とは別の事業として位置づけ、保護者に向けチラシやホームページ等で周知を進めている。		
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	地域の方々を「チーム北条」というグループ名をつけて活動することにより、互いに協力し合い子どもたちを見守る意識を高めている。		
	1, 2年生が対象児童であるため、児童の実態に合った内容を企画している。		
(3)取組の効果	「チーム北条」と意識付けしたため、地域で子どもたちを見守ろうという意識の高まりがある。保護者の中からも趣旨に賛同し、新規で参加したいという保護者もでてきている。		
	学校の先生方も、放課後子ども教室の様子を見て下さり、事業への理解が深まったと共に、様々な角度から児童を理解しようとする雰囲気も高まった。		
4 参加している方々の感想等			
放課後子ども教室では、普段できないことができて、とても楽しい。いろいろなものを作ったり、遊んだりできるのがいい。 (児童) 子どもが毎回楽しみにしている。(保護者) 子どもたちが成長していく様子が見えて、喜びに感じるとともに自分自身も元気になれる。(教育活動推進員・教育活動サポーター)			



～楽しい工作～
地域のボランティア(チーム北条)と一緒に



～グランドゴルフに挑戦！～
グランドゴルフ協会の方々に丁寧に教えていただきました。

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	ひたちなか市	
教室名	那珂湊第二小学校「つきやまクラブ」	
活動テーマ	スポーツ・文化などの体験活動。他学年・地域の方との交流	
1 概 要		
(1)活動日数	22日(月曜:月2回程度)	
(2)実施場所	音楽室, 体育館, 校庭	
(3)開催時刻	授業終了時～16時半	
(4)登録児童数	48	
(5)活動日運営スタッフ		
○ コーディネーター	人	
○ 教育活動推進員	5 人	
○ 教育活動サポーター	人	
○ 募集方法	げんきNETひたちなか(市民活動サポートバンク)から依頼を行うこともある。	
○ スタッフ職歴等	NPO法人ヴェレン大洗, 地域ボランティアの方々	
2 学校との連携方法		
活動日の調整や、場所の確保などを協議しながら行っている。		
3 活動内容		
(1)具体的な活動内容	室内と校庭での自由遊び, 校庭でのサッカーなどのスポーツ活動。昔遊び, 室内での創作活動、宿題など学年を超えたさまざまな活動を行う。	
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	その日実施する内容の中から、自分で好きなものを選択して自由に参加できる。	
	「自分で考える」ことを重要視し、スタッフから「宿題を先にやりなさい」等の指示はせず、児童に「宿題を先にやってから遊ぼう」「少し遊んでから宿題をしよう」など、自分で考えて活動させている。	
(3)取組の効果	地域の方や、他学年の児童など幅広い交流をもつことができる。	
	体験内容が豊富であり、様々な体験をすることができる。	
4 参加している方々の感想等		
・沢山の指導者が常に子どもを見ているので、安全に楽しく活動することができている。 ・昔遊びなど、家庭ではあまりできない事ができるのが良かった。 ・手芸などいろいろなものを作ったり、バスケットボールなどで体も動かせたりと、いろいろできて良かった。		



紙でスペースシャトルを作って，工作を楽しみました。



昔遊び(けん玉)を体験しました！
うまうできたかな？

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	鹿嶋市		
教室名	豊津地区放課後子ども教室(休日の部)		
活動テーマ	地域の人とふれあい、地域の歴史や文化を知ろう		
1 概 要			
(1)活動日数	年10回程度(土、日、祝日、長期休業日等)		
(2)実施場所	豊津まちづくりセンター 他		
(3)開催時刻	実施日により異なる(概ね3時間程度)		
(4)登録児童数	実施内容により異なる(毎回募集をしているため)		
(5)活動日運営スタッフ			
○ コーディネーター	1 人		
○ 教育活動推進員	4 人		
○ 教育活動サポーター	複数 人		
○ 募集方法	チラシ等により募集		
○ スタッフ職歴等	地域のボランティア、学校の先生、PTA、子ども会等		
2 学校との連携方法			
小学校の先生から生徒へ積極的な呼びかけをいただき、先生、PTA関係者等も協力して一緒に実施している。			
3 活動内容			
(1)具体的な活動内容	新春カルタ大会		
	地域に縁のある文化や言い伝えなどをもとにしたカルタを作成し、カルタ大会を実施している。		
	低学年の部、高学年の部、一般の部がある。併せて餅つき大会も行っている。		
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	地域の人に協力をいただき、子どもたちだけでなく、学校、PTA、保護者、地域の人たちが全て		
	楽しめるようにさまざまな役割をお願いしている。		
	カルタ大会への参加、審判担当、読み上げ担当、餅つき担当等。		
(3)取組の効果	たくさん子どもたちが参加し、地域の人と積極的にふれあう光景が見られる。		
	多世代の人達が交流することで地域間の絆が深まっている。		
4 参加している方々の感想等			

鹿嶋市
豊津地区放課後子ども教室(休日の部)



カルタ大会の様子



餅つき大会の様子

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	鹿嶋市	
教室名	はまなす地区放課後子ども教室(休日の部)	
活動テーマ	地域の人とふれあい、地域の歴史や文化を知ろう	
1 概 要		
(1)活動日数	年10回程度(土、日、祝日、長期休業日等)	
(2)実施場所	はまなすまちづくりセンター 他	
(3)開催時刻	実施日により異なる(概ね3時間程度)	
(4)登録児童数	実施内容により異なる(毎回募集をしているため)	
(5)活動日運営スタッフ		
○ コーディネーター	1 人	
○ 教育活動推進員	4 人	
○ 教育活動サポーター	複数 人	
○ 募集方法	チラシ等により募集	
○ スタッフ職歴等	地域のボランティア	
2 学校との連携方法		
活動と一緒に参加してもらっている		
3 活動内容		
(1)具体的な活動内容	門松づくり	
	日本の文化である門松を、地元の材料を使い、地域の人と一緒に作製をする	
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	地域の人に積極的参加してもらい、簡単に出来る門松づくりを実施している。	
(3)取組の効果	日本の伝統文化に触れることができる。地域の人と積極的にふれあう光景が見られる。	
	親の世代でもなかなか作ったことがある人が少ない為、親子でよい経験になっている。	
4 参加している方々の感想等		
縄の扱いが難しかったが楽しかった。作った門松を自慢して家に飾りたい。		

鹿嶋市
はまなす地区放課後子ども教室(休日の部)



門松作りの様子



門松作りの様子

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	潮来市	
クラブ・教室名	潮来市放課後子ども教室(6箇所)	
活動テーマ	工作、調理体験、伝統文化体験など	
1 概 要		
(1)活動日数	44日(6教室合計)(土日祝日等)	
(2)実施場所	各地区公民館	
(3)開催時刻	9:00～12:00	
(4)登録児童数		
(5)活動日運営スタッフ		
○ コーディネーター	2 人	
○ 教育活動推進員	12 人	
○ 教育活動サポーター	36 人	
○ 募集方法	開催ごとに対象小学校へチラシ配布、毎回参加者を募集する	
○ スタッフ職歴等	地域ボランティアの方々	
2 学校との連携方法		
通常は地区公民館で実施しているが、内容によっては、学校体育館を借りて開催している		
3 活動内容		
(1)具体的な活動内容	調理体験(カレー、ケーキなど)、工作(凧作り、クリスマスリース作りなど)、伝統文化体験(活花、茶道など)	
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	季節に合った活動内容を実施している(すいか割り、流しそうめん、いも掘り、クリスマス会など)	
	全学年対象で参加募集しているので、低学年と高学年が協力し合いながら活動できるようにしている	
(3)取組の効果	地区公民館を実施場所としているので、子どもたちが参加しやすい	
	季節ごとの活動内容なので、興味を持って参加をしてくれる子どもが多い。	
	体験事業が多いので、学校では学ぶことができないものができる	
4 参加している方々の感想等		
体験活動が主なので、子どもがさまざまな経験ができるので好評を得ている。参加している子どもも楽しんでいる。伝統文化体験は、学校では出来ないものなので、保護者からも評価が高い。		



みんなでカレーライス作り、材料を切るのも真剣です



昔遊び、地域の方に教わりながらけん玉に挑戦



クリスマスリースを作りました

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	筑西市	
教室名	河間小うきうき体験教室 新治小すくすく体験教室	
活動テーマ	地域(人や自然環境)を活かした体験教室	
1 概 要		
(1)活動日数	それぞれ年間5日	
(2)実施場所	学校(体育館など)、地域の公民館、地域の体育施設、市内の里山など	
(3)開催時刻	平日(放課後～17:00)、土曜日や休日等(9:30～11:30)	
(4)登録児童数	河間小学校28人 新治小学校26人	
(5)活動日運営スタッフ		
○ コーディネーター	1 人	
○ 教育活動推進員	内容に応じて1人～数 人	
○ 教育活動サポーター	内容に応じて1人～数 人	
○ 募集方法	サポーターは筑西市民講師などに依頼	
○ スタッフ職歴等	コーディネーター、推進員は様々な職歴の市民、サポーターは市職員	
2 学校との連携方法		
・募集チラシは、学校を通して全児童に配布することで、学校にも活動内容を把握してもらっている。 ・放課後の活動では、下校時に参加者を別に整列させることで、参加者の確認をしている。		
3 活動内容		
(1)具体的な活動内容	ニュースポーツ(キンボールやバルバレーなど)体験	
	市内の他の地域にある里山で活動(自然探索、焼き芋など)	
	市民講師に協力を依頼し、その講師がもつ特技(バルーンアート制作など)を取り入れた体験活動	
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	活動時間が長くとれる日(下校時刻が早い日)は、前半は宿題などの学習支援、後半は体験活動を行うことで、活動にメリハリをつけている。	
	休日には、別の小学校の放課後子供教室を一緒に行ったり、市内高校生会(筑西リーダース高校生会)の高校生と活動したりすることで、児童に様々な人との交流の場を設けている。	
	学校教育とは別の事業であることを保護者に周知し、連絡先を教育委員会一本にすることで、学校側の負担を解消している。	
(3)取組の効果	普段体験できない活動や興味を引く活動を取り入れたことにより、児童が進んで活動することができた。	
	同じ市内でも行ったことがない場所で活動を行うことで、地域のよさを体験することができた。また、その送迎を行う保護者も一緒に活動することで、子供の活動の様子を知ることができた。	
	様々な年齢の人(地域の大人や高校生など)や他校の児童と共同で活動することで、コミュニケーション能力を高めることができた。	
4 参加している方々の感想等		
・初めて体験する活動が多いので、とても楽しい。		



里山で、焼きたてのあまい焼き芋を
食べました。



初めて体験するキンボールで、
楽しく遊びました。

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	稲敷市
教室名	あずま西小学校放課後子供教室
活動テーマ	様々な体験活動を中心とした特色ある子供教室の運営
1 概 要	
(1)活動日数	30日(毎週月曜)
(2)実施場所	体育館・グラウンド・多目的教室(西っ子ルーム)
(3)開催時刻	午後2時20分～午後4時
(4)登録児童数	25人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター	1 人
○ 教育活動推進員	1 人
○ 教育活動サポーター	4 人
○ 募集方法	市の広報誌や保護者からの紹介で募集
○ スタッフ職歴等	地域ボランティアの方々
2 学校との連携方法	
学校の施設を使用するので、鍵の開閉や戸締り、備品の管理を放課後子供教室が責任を持って行う。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	地域の方々による昔遊びやグラウンドゴルフを行う。
	スタッフによる子ども達の下校補助(見守り)を行う。
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	子ども達が安心して楽しく活動ができるよう、地域の方々からの意見を取り入れた放課後子供教室の企画・運営をしている。
	放課後子供教室を小学校の教育活動とは別の事業として位置づけ、保護者に向け周知を進めており、放課後子供教室の中で起きた問題は、子供教室の中で解決するよう努め、学校に負担をかけないようにしている。
(3)取組の効果	学校内で実施することにより、安心・安全な放課後の居場所として保護者から信頼されている。
	体験活動を多く実施することにより、全ての児童がさまざまな経験ができる。
4 参加している方々の感想等	
安全な遊び場の不足や1人で遊べるゲーム機の普及など遊ぶ機会が少なくなっている状況の中で、子ども達が様々な体験ができるのは、大変有意義である。 下校の補助もしていただけるので安心できる。	



輪投げは大人気です。



地域の方にグラウンドゴルフをさせていただきました。

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	行方市	
教室名	子ども陶芸室	
活動テーマ	地域の多様な技能を持つ人材をコーディネートした生きたプログラムの実現	
1 概 要		
(1)活動日数	14(毎月1～2回)	
(2)実施場所	麻生公民館及び行方市陶芸室	
(3)開催時刻	午前9時～12時	
(4)登録児童数	30名	
(5)活動日運営スタッフ		
○ コーディネーター	1 人	
○ 教育活動推進員	1 人	
○ 教育活動サポーター	1 人	
○ 募集方法	ちらしを市内小学校へ配布	
○ スタッフ職歴等	陶芸愛好会等の地域ボランティアの方々	
2 学校との連携方法		
作成した募集チラシを、市内の全児童へ行き渡るように配布をお願いしている。		
3 活動内容		
(1)具体的な活動内容	地域の愛好会の方々に協力を得て、陶芸の基本(玉作り・ひも作り・板作り)を学びながらお茶碗・湯のみ・皿などを作製する。	
	市文化祭等へ作品を出展し、地域の子供たちの交流の場を設けている。	
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	子ども達が安心して楽しく活動ができるよう、運営委員会や地域ボランティアの方々から意見を取り入れた企画・運営をしている。	
	保護者の方には、いつでも自由に参加して、活動補助をしてもらえるよう呼びかけている。	
(3)取組の効果	近年、子どもたちの体験活動が減少している中、子どもの健やかな成長に、体験がいかに大切かを広く発信し、地域の体験活動を推進する機運を高めている。	
	安心・安全な居場所を子どもたちに提供している。	
4 参加している方々の感想等		
陶芸用の粘土に触れた子どもたちは「難しいけど、楽しい」と喜んで参加してくれている。		



大人も子供も真剣な表情で学んでいます。



保護者自由参加でお手伝いして頂きました。

地域と連携した放課後子ども教室の取組例

市町村名	大洗町
クラブ・教室名	おふじやま教室
活動テーマ	放課後子ども教室の運営
1 概 要	
(1)活動日数	35日(毎週火曜日)
(2)実施場所	おふじやまルーム(別棟の旧資料室)・校庭(雨の日は体育館、図書室)等
(3)開催時刻	授業終了後～午後6時
(4)登録児童数	92人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター	1 人
○ 教育活動推進員	1 人
○ 教育活動サポーター	10 人
○ 募集方法	現スタッフからの紹介(口伝え)
○ スタッフ職歴等	地域のボランティアの方々(主に現役退職者。たまたま看護師や教師の資格を持っているスタッフがいる)
2 学校との連携方法	
学校の施設を使用するので、鍵の開閉や戸締り、備品の管理を放課後子ども教室が責任を持って行う。活動の様子についても、学校の先生方と情報共有できるようにそのつどコミュニケーションをとっている。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	基本的には自由遊び。子どもたちが思い思いに遊ぶ。スタッフはそれを見守る。叱るときには叱り、褒めるときには褒める。
	地域の方による体験活動を行う(ザリガニつり、ミニトマト狩り、ゴム銃作り、語り、篆刻彫り、ピザ焼き、パッチ作り等の手芸、折り紙教室、等)。
	学期ごとに「ミニ夏祭り」「ミニクリスマス会」等のお楽しみ会を催す。
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	子ども達が安心して楽しく活動ができるよう、スタッフの意見を取り入れた放課後子ども教室の企画・運営をしている。
	放課後子ども教室を小学校の教育活動とは別の事業として位置づけ、保護者に向け周知を進め、責任の所在を明らかにすることにより、学校への負担を解消しているつもり。
(3)取組の効果	学校内で実施することにより、安心・安全な放課後の居場所として保護者から信頼されている。
	子どもに学校外で会った「あ！おふじやま教室のおじちゃんだ！」などと嬉しそうに話しかけてくれる。地域のつながりを感じる。
	スタッフはほとんどが子育てを終えた世代の人なので、保護者にとっても子育ての相談をできる存在として頼りにされている(気がする)。
4 参加している方々の感想等	
体験活動を通して、子どもがさまざまな経験ができるので良い。子ども達も楽しんで参加している。学校内での活動なので安心して預けられる。子どもどうして遊ぶ機会が増えていい。小枝や木の実などの自然のものを使い工夫して作った昔ながらの遊びを教えてもらえるのが嬉しい。	



ピザ焼き



ミニ夏祭りのスイカ割り



ゴム銃作り



語り



バッジ作り



科学教室

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	だいが小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	74日(毎週火・木曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	だいが小学校 体育館
(3)開催時刻	午後2時50分から午後5時30分まで
(4)登録児童数	51人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2人)
○ 教育活動推進員	1人
○ 教育活動サポーター	6人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元教諭・元会社員・生活支援員・専業主婦
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・低学年の音読 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をする。
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・絵画作り・うちわ作り・魚釣り大会・鬼のお面作り・竹とんぼ作りなど) ・講師招聘による紙飛行機づくり・こまづくり・笛づくり・マジックショーなど
	フリータイム ・室内サッカー・ドッジボール・ビンゴゲーム・鬼ごっこ・縄跳び・じゃんけんゲームなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	スタディサポートタイムでは、学年による下校時間の違い、宿題の量の違いなどがあるので、学年差に応じた指導場所や支援の仕方が必要。
	人数が多いので、推進員一人の目で見きれない。活動場所や学年をサポーターに分担して安全確保に努める。
	特技を持った講師を招き、いろいろな体験活動を行う。また、「放課後子ども教室だより」を発行し、子ども教室での子どもたちの活動の様子を保護者に知らせる。
(3)取組の効果	子どもたちが相互にアイデアを出し合って、遊びのルールを決めて遊ぶようになり、放課後子ども教室という小社会の成員としての過ごし方が上手にできるようになってきた。
	「だいが小放課後子ども教室しぐさ」として、特に、人をつなぐ「あいさつしぐさ」を実践した結果、思いやりの心が広がり、「あとかたづけしぐさ」「なかよししぐさ」的な姿が見られるようになった。
	講師・特技を持った方とのふれあいにより、意義ある体験活動ができた。
4 参加している方々の感想等	
・宿題を子ども教室で終わらせてくるし、お友達とたっぷり遊んでくるので、帰宅後の笑顔が多くなった。 ・学校の先生以外の方々とふれあう機会が得られたことはよかったと思う。	



楽しいマジックショーを見るだけではなく、
ぼくたちも教わったことをやってみました。(だいが小)



絵皿づくりに挑戦！何を描き加えようかな？(だいが小)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	依上小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	77日(毎週水・金曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	依上小学校 プレイルーム, 体育館
(3)開催時刻	午後3時40分から午後5時30分まで
(4)登録児童数	33人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2人)
○ 教育活動推進員	1人
○ 教育活動サポーター	3人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元教諭・元役場職員・元会社員・農業
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・低学年の音読 ・書道 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をす
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・うちわ作り・似顔絵描き・雪の造形・ボーリング大会など)
	フリータイム ・室内サッカー・ドッジボール・ドッジビー・鬼ごっこ・将棋・一輪車・ハンカチ落としなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	男女のサポーターそれぞれの特性・特技を生かし、子どもに寄り添った支援に心がける。
	スタッフの特技分野を生かし、活動内容の検討や自作教材の提供・楽しいレクリエーションの紹介等によって、子どもの体験活動の幅を広げる。
	異学年集団行動の中で、リーダーの育成と自主的な態度の育成を図る。
(3)取組の効果	開設当初は落ち着きがなかったが、進んで宿題やプリント学習に取り組む姿が見られるようになった。
	異学年による活動を多く取り入れてきたことにより、「感謝の気持ち」が育ち、6年生に対して心のこもった「色紙」を贈ることができた。
	年度途中に、体育館の改修工事があり借用施設の問題があったが、このことによって、学校や教育委員会との連携が深まり、よりスムーズに運営ができるようになった。
4 参加している方々の感想等	
・家に帰っても一人なので、テレビやゲームなどで過ごすことが多かったが、子ども教室に参加することによって、異学年の子どもたちや大人の人との関わり合いが増え、すごく成長することができた。 ・宿題を見ていただいているので、大変ありがたい。 ・子どもは毎回楽しみにしている。子どもにとって大事な時間のようだ。	



算数は難しいなあ。よく考えなくちゃ。(依上小)



書道教室もあります。ていねいに教えてくれます。(依上小)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	さはら小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	77日(毎週水・金曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	さはら小学校 体育館
(3)開催時刻	午後2時55分から午後5時30分まで
(4)登録児童数	21人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2人)
○ 教育活動推進員	1人
○ 教育活動サポーター	3人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元教頭・元小学校講師・元会社員・専業主婦
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・低学年の音読 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をする。
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・うちわ作り・ビーズ作り・厚紙ツリー作り・パルーンアート・英字新聞を使ったブローチ作りなど)
	フリータイム ・ボール遊び・ドッジボール・フリスビー・鬼ごっこ・縄跳び・紙飛行機飛ばしなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	子どもたちが考えたルールによるボール遊びを行うことによって、他を思いやる心やきまりを守る心を育てる。
	学習・諸活動・遊びのけじめをつける。特に、学習の習慣を身につける。
	男性・女性のサポーターの特性を生かしながら、子どもたちの支援に当たる。
(3)取組の効果	宿題を終わらせることによって、精神的な余裕から友達との活動がさらに充実した。
	子どもたちの立場に立ち、話し合いの中から建設的な意見を取り上げ、活動に生かすことができた。
	多様な体験的・創造的な活動を取り入れたので、子どもたちの生き生きした姿を多く見たり、喜びの声を聞いたりすることができた。
4 参加している方々の感想等	
・週2回、子どもたちがのびのびと体を動かして遊べる環境を与えていただき、心より感謝しています。 ・先生方も大変かと思いますが、子どもたちは毎回楽しみにしています。今後も是非続けてください。 ・いろいろな創作をしてくるので、子どものためになっていると思います。宿題・遊び・先生とのやりとりすべてがためになっています。	



大小様々なビーズを集めて、自分だけのオリジナルブレスレット
をつくりました。(さはら小)



うちわに着色しました。とってもきれいにできました。(さはら小)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	黒沢小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	73日(毎週火・木曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	黒沢小学校 図書室, 体育館
(3)開催時刻	午後3時から午後5時30分まで
(4)登録児童数	25人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2 人)
○ 教育活動推進員	1 人
○ 教育活動サポーター	3 人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元校長・元小学校講師・専業主婦・大学新卒
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・低学年の音読 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をする。
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・うちわ作り・パソコンゲーム・木の実のコマ作りなど)
	フリータイム ・ボール遊び・ドッジボール・フリスビー・鬼ごっこ・縄跳び・カルタ・クイズ大会など
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	下校時刻が異なるので、低学年のエンジョイサポートタイムと高学年のスタディサポートタイムが重なってしまう。サポーターの指導のもと、低学年生に対しては静かな活動をさせるようにする。
	前半は、幸い図書室が活動場所なので、学年ごとに分かれたグループ活動を多く取り入れている。
	低学年生は時間的に余裕があるので、必ず音読を取り入れる。
(3)取組の効果	1年生から6年生まで、参加者の幅が広いので、異学年で「昔の群れ遊び」のようなことができる。子ども・保護者から評判がよい。
	ひらがなの理解が十分でない児童に音読指導を続けてきたので、すらすら読めるようになり、担任から感謝された。
	あいさつがきちんとできるようになった、高学年生が低学年生の面倒をよく見るようになったなど、人間関係がよかった。
4 参加している方々の感想等	
・週2回、子ども教室に参加して、子どもは、勉強をしたり友達と遊んだりしたことを楽しそうに話してくれる。 ・宿題をきちんと済ませてくれるので、親としては大変助かる。 ・高学年やスタッフの方々に勉強を見ていただき、家でも勉強するようになった。	



そろって音読を聞いてもらっているのが楽しい。(黒沢小)



サポーターと楽しそうにカルタ取りをする子どもたち(黒沢小)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	生瀬小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	75日(毎週火・木曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	生瀬小学校 生活科室, 体育館
(3)開催時刻	午後2時30分から午後5時30分まで
(4)登録児童数	22人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2 人)
○ 教育活動推進員	1 人
○ 教育活動サポーター	3 人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元校長・農業・元役場職員・専業主婦
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・書道 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をする。
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・うちわ作り・下敷き作り・人形劇の制作など)
	フリータイム ・ボール遊び・DVD鑑賞・大豆つまみ競争・ボーリング・フラフープ・鬼ごっこ・縄跳び・紙飛行機飛ばしなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	みんなで協力して人形劇を作り上げることによって、表現力を育てる。また、劇をDVDにまとめ、自作教材発表会に出品することによって、子どもたちの活動意欲を育てる。
	「生瀬小 放課後子ども教室だより」を発行し、子どもたちの活動の様子を知らせ、保護者の理解を深める。
	月に1回、学年ごとに「書道」を行う。(サポーターの特技を生かす。)
(3)取組の効果	学年や男女の差などバランスに偏りがあったが、諸活動を通して、異学年の児童が協力し合うことによって、人間関係の育成がなされた。
	前半の時間帯は、低学年だけの活動になるが、そのおかげで4年生の子がリーダーになって積極的にまとめるようになった。
	子どもたちとスタッフで力を合わせて作り上げた創作劇で、一人一人賞状をいただいたので、子どもたちにとって励みになった。
4 参加している方々の感想等	
・自主的に勉強するようになったので、うれしく思っている。 ・親子での活動もあればうれしく思う。 ・子ども教室に通うようになってから、あいさつがよくなるようにあった。 ・いろいろな楽しい活動ができるので、毎回楽しみにしている。	



人形劇「森の動物たち」
みんなで力を合わせてチョークでバックの絵を描きました。
何度も練習しました。(生瀬小)



こんなにきれいなうちわになりました。(生瀬小)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	袋田小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	69日(毎週月・金曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	袋田小学校 図工室, 体育館
(3)開催時刻	午後2時40分から午後5時30分まで
(4)登録児童数	24人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2人)
○ 教育活動推進員	1人
○ 教育活動サポーター	3人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元校長・元会社員
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・低学年の音読 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をする。
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・うちわ作り・バルーンアート・紙コプター作り・新聞紙アートなど)
	フリータイム ・室内サッカー・ドッジボール・ドッジビー・鬼ごっこ・縄跳びなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	月曜日は3時間強の時間があるので、創作的な活動を行う。逆に、金曜日は宿題やプリント学習の時間と少しのフリータイムしか取れない。
	活動の基本は指導者側にあるが、学年ごとの話し合いをもとにした各学年主催によるゲームや運動を行い、子どもたちの活動意欲を高め、異学年交流を深める。
	教育活動推進員やサポーターが子どもの頃の遊びを紹介する。
(3)取組の効果	学習の習慣が定着し、自主的に学習に取り組む児童がほとんどである。また、高学年生が低学年の子にアドバイスする姿が自然発生的に見られるようになった。
	縦割り班による活動が多いので、ふれあいが深まり、家族的な雰囲気の中で活動している。
	あいさつ・整理整頓等もよくなった。また、様々な体験活動を大変喜んでいる。
4 参加している方々の感想等	
・周りに子どもがいない地域なので、下校後はひとりぼっちだったが、子ども教室のおかげで充実した放課後を過ごすことができた。 ・宿題を済ませて帰ってくるので、家族団らんの時間ができた。 ・スタッフの方が親身になって接してくれるので、信頼してお願いすることができる。	



「バルーンアート」
風船を割りながらも、一生懸命バルーンでの
動物づくりに挑戦しました(袋田小)



「新聞紙でかぶとを折ろう」
折ったかぶとをかぶり、全員で写真をパチリ。
みんなよく似合っています。(袋田小)

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	上小川小学校放課後子ども教室
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	68日(毎週月・水曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	上小川小学校 図書室, 体育館
(3)開催時刻	午後2時55分から午後5時30分まで
(4)登録児童数	11人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2人)
○ 教育活動推進員	1人
○ 教育活動サポーター	2人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元教諭・子ども教室スタッフ・専業主婦
2 学校との連携方法	
・学校の施設を使用するので、鍵の開け閉めや戸締まり、備品等を放課後子ども教室が責任を持つ。 ・学校行事等と活動場所・時間等を調整する。 ・開始・終了時に職員室に行き、子どもの健康状況などの情報交換をする。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・宿題(学校教育分野なので答え合わせは行わない。)→学習の習慣化を図る。 ・低学年の音読 ・学習プリント(国語・算数)→教育活動推進員が適切な助言をする。
	エンジョイサポートタイム ・創作的な活動(折り紙・うちわ作り・ストーンアート・上小川小カレンダー作り・砂の造形・竹とんぼ作り・キーホルダー作り・紙粘土・七夕飾り作りなど)
	フリータイム ・ボール遊び・ころころゴルフ・魚釣り大会・将棋・タワー積み上げ競争・ボーリングなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	全学年一斉に集まってくるので、毎回、必ず「今日の予定」「諸注意」「励ましのことば」など、推進員が話をしてからスタートする。(子どもたちは見通しを持って活動に入れる。)
	子どもたちへの指導を徹底するために、毎回、事前にサポーターとの打ち合わせを十分とり、サポーターの協力を得て、スムーズに運営できるようにする。また、サポーターの特技や持ち味を生かすようにする。
	参加児童が少ないので、お迎えの保護者に対して、必ず子どもたちの活動の様子を伝えるようにしている。
(3)取組の効果	子どもたちは、教育推進員の話をよく聞くようになったので、きちんとした生活習慣が身についてきた。
	子どもたちはお互いに助け合い、学び合い、支え合うなど、小さな力と力が結び合う心温まる場面を多く見ることができた。これは、少人数のよさであろう。
	子ども教室の活動に対する保護者・学校側の信頼が高くなった。その分、担当者の責任も重くなったといえる。
4 参加している方々の感想等	
・たくさんの学習プリントを作っていただき、学習も楽しくできたようです。 ・学校ではできないような楽しい活動をたくさんしていただき感謝しています。 ・内気な子が、先生方や上級生の子と交流を持ったことは、とてもよい経験になりました。 ・自宅には学べないことたくさん教えていただき感謝しています。いろいろ学ぶ場所だったと思います。	



「校長先生の参観」
校長先生がぼくたちの活動を見に来てくださいました。
「今日も頑張るぞ。」（上小川小）



「手作り竹とんぼ」
私の夢を乗せて、天までとどけ。（上小川小）

地域と連携した放課後子供教室の取組例

市町村名	大子町
教室名	すまいるクラブ
活動テーマ	「安心・安全な居場所づくり」「諸活動を通して心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進」
1 概 要	
(1)活動日数	74日(毎週火・木曜日) ※長期休業日を除く。
(2)実施場所	茨城県立大子特別支援学校 プレイルーム, 体育館
(3)開催時刻	午後3時から午後4時50分まで
(4)登録児童数	6人
(5)活動日運営スタッフ	
○ コーディネーター(事務局)	(2人)
○ 教育活動推進員	1人
○ 教育活動サポーター	4人
○ 募集方法	町広報誌
○ スタッフ職歴等	元校長・元会社員・保育士・専業主婦
2 学校との連携方法	
・活動日の午前中に、子どもの健康状態や参加の有無等について、担当者と電話で連絡を取り合う。 ・年1回、スタッフと学校の関係職員との情報交換会を実施する。	
3 活動内容	
(1)具体的な活動内容	スタディサポートタイム ・読み聞かせや宿題の支援を行う。
	エンジョイサポートタイム ・サポーターが折った折り紙を台紙に貼る「貼り絵」の制作・段ボール箱を使った「すまいるハウス」作りなど
	フリータイム ・ユサブランカ・一輪車・マット・お絵かき・カルタなど
(2)活動のポイント (工夫している点 等)	個別支援を基本に置いた居心地のよい居場所づくりを推進する。
	資料を使った研修により、スタッフの連携をスムーズにし、お互いの立場を理解し合った対応ができるようにする。
	常に安全を確認しながら、一緒にいてよかったと思われるようなサポートに心がける。
(3)取組の効果	一人一人に寄り添った受容的な対応により、子どものストレスが少なくなり、全体に落ち着きが出てきた。
	教育支援ネットワーク会議が開催され、学校との連携がスムーズになり、児童の実態に即した活動が円滑に進められるようになった。
	引き渡し時に、子ども教室での姿を伝えることにより、保護者との相互理解が深まり、協力も得られるようになった。
4 参加している方々の感想等	
・放課後子ども教室のある日は、親に時間的余裕ができて大変助かる。 ・サポーターの方がいろいろと工夫しながら支援してくれるので、運動不足解消に役立っている。 ・子ども教室は、子どもにとって有意義な時間になっている。	

(参考資料)

人材リスト等の活用について

教育活動推進員や教育活動サポーター、講師等については、目的に応じてインターネット上の下記のリストで探すことができます。

【分野別に講師を探す】

茨城の生涯学習ホームページ（茨城県生涯学習情報提供システム）

<https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/koushi/>

「自然科学」「体育・スポーツ・レクリエーション」「いきいき自然アドバイザー」など、講演会や講座のメニューにあった講師（団体・グループ）も検索できます。



【理科の専門家を探す】

おもしろ理科先生派遣事業

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/syogai/omosiro/index.html>

「おもしろ理科先生」として登録されている、理科に関する専門的な知識をもった方々（大学・研究所の職員やOB、小・中学校や高等学校の教員及びOB等）を派遣する事業です。各県生涯学習センターのホームページでは、講座内容一覧表を見ることができます。

講師謝金、交通費等が必要な場合もありますので、詳しくは各生涯学習センターの担当者までご相談ください。



【地域のボランティアを探す】

生涯学習ボランティア活動センター

<https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/business/>

各生涯学習センターでは、ボランティアについての相談、紹介、情報提供及び体験活動、ボランティア活動支援事業に取り組んでいます。



【水戸生涯学習センター】



【県西生涯学習センター】



放課後子供教室実践事例集
～放課後児童クラブ・地域との連携事例～

平成27年3月

茨城県保健福祉部子ども家庭課少子化対策室
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6 029-301-3261
